



学校だより
【7月22日号】

学校の様子⑪テーマは“水”

水は**恵みの水**と言われるように生きていく上で必要などとても大切なものです。逆に**水害**という言葉があるように私たちの生活や命を脅かすものにもなります。

①恵みの水

7/9(木)に市の上水道課の方々に来ていただき、水の大切さや水がどうやって我々のもとへ届けられているか、災害時にどのような活動をしているか等について学びました。総社市内に通っている水道管の長さは630kmにもなること、コンピューターで貯水池の水位を管理していることや災害時には、音聴棒で水漏れの場所を探し、その後水道管を洗う作業をすること、給水車を使って全国各地へ水を届けていること等を学びました。実際にお仕事に携わっているの方々からお話をお聞きするのは、とても勉強になります。これからも本物から学ぶ機会を大切にしていきたいと思えます。



②水害

6/29(月)の朝礼で小牧先生より水難事故防止について、命の大切さについて左のようなフリップを使ってお話がありました。これからの季節水に触れることが多くなります。事故がないよう一番大切な命を守る行動ができるようご家庭でもより具体的な場所や場面を想定しながら子どもたちに話してみてください。

学校の様子⑫ 計画委員がんばっています

学校完全再開から2か月近くがたちました。子どもたちは徐々に学校生活のリズムがつかめてきたところです。計画委員や6年生を中心に学校生活をよりよくするためにいろいろな取組がなされています。

取組①あいさつ運動

毎朝、計画委員や有志たちが下駄箱付近であいさつ運動をしています。また、あいさつカードやあいさつ名人の取組も行われています。こういった取組を通して学校全体にあいさつをしようとする意識が高まってきました。自分から気持ちのよいあいさつができる児童が増えてきました。中には、会釈を添えてあいさつができる児童がいます。地域に帰っても同じように自分から気持ちのよいあいさつができるよう、よき伝統となるよう、学校や地域をあげて継続して取り組んでいきたいと思えます。



取組②正しいろう下歩行

解放感いっぱい校舎ということもあり、落ち着いて歩行することがなかなかできていません。右上のように計画委員を中心に正しい歩行を掲示し、呼び掛けています。この取組もあいさつ運動のように粘り強く取り組み、定着を図っていききたいと思えます。

このように学校生活の課題を共有し、全員で全力で取り組む**(オールそうじゃ)**ことでさらなる高みを目指していきたいと思えます。